

令和 3 年度

鹿追町国民健康保険病院事業会計
決 算 審 査 意 見 書

鹿 追 町 監 査 委 員

(注)

- 1 文中及び本文各表中の金額で千円単位、百万円単位で表示しているものは、単位未満を四捨五入している。
- 2 比率(%)は、原則として小数点以下第3位を四捨五入している。
- 3 各表の符号用法は次のとおりである。
 - 「－」・・・・・・ 該当数値がない、又は比率で計算不能の場合
 - 「△」・・・・・・ 負数又は減数
 - 「0」「0.0%」・・・ 0又は単位未満のもの
- 4 上記のように処理した結果、文中及び各表の数値とその内容の累計値とが一致しない場合や、他部局作成の資料等の数値とは一致しない場合がある。

令和4年8月31日

鹿追町長 喜 井 知 己 様

鹿追町監査委員 野 村 英 雄

鹿追町監査委員 埴 渕 賢 治

令和3年度鹿追町国民健康保険病院事業会計決算審査意見書

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された、令和3年度鹿追町国民健康保険病院事業会計決算は、審査の結果、次のとおりであったので意見を付して報告する。

1 審査の対象会計

令和3年度鹿追町国民健康保険病院事業会計

2 審査の期間

令和4年7月1日から令和4年7月29日まで

3 審査の方法

審査に当たっては、決算報告書の他、決算付属書（以下決算諸表という）について計算の正確性、予算執行の適否、また関係法令に準拠して作成され企業としての経営成績、財政状態が適正、正確に表示されているかについて審査した。

また、病院の経営内容を把握するため、計数の分析を行なって経済性の発揮及び公共性の確保を主眼に考察した。

4 監査の結果

（1）現金及び預金等について

現金及び預金については、別（地方自治法第235条の2第1項、地方公営企業法第31条）に定めるところにより例月出納検査を実施しているので、審査の範囲外とした。

なお、現金はすべて鹿追町会計管理者の掌握下におかれており、正確であることを認めた。

(2) 棚卸資産等について

薬品については棚卸表・仕入価格表を対照し、減価償却費についてはそれぞれ諸表により調査し、適正であることを確認した。

(3) 決算諸表について

本決算報告書及び関係諸帳簿は法令に基づいて作成され、その計数は関係書類と照合した結果正確である。

また、審査の結果、公営企業の会計原則に従い経営成績及び財政状況が適正に表示されているものと認めた。

(4) 当初予算と補正予算の状況について

当初予算では、収益的収支の収入で年間入院患者数 10,220 人、外来患者数 18,876 人と見込み、医業収益を 394,296,000 円、前年度比 87,143,000 円減とした。

その外に、他会計補助金 256,718,000 円を含めた医業外収益を 270,415,000 円、特別利益として 1,000 円を組み入れ、病院事業収益を 664,712,000 円、前年度比 70,196,000 円 (9.55%) 減とした。

それに対し、補正で年間入院患者数を 559 人減の 9,661 人、外来を 647 人減の 18,229 人に、また、1 日平均患者数の入院 28 人を 26 人に、外来 78 人を 75 人に改め、医業収益を 49,400,000 円減の 344,896,000 円、医業外収益を 18,185,000 円減の 252,230,000 円、特別利益を前年度同額の 1,000 円とし、事業収益合計は 67,585,000 円減の 597,127,000 円とした。

支出では、当初予算で医業費用 661,617,000 円、医業外費用 3,065,000 円、特別損失 30,000 円と見込み、病院事業費用 664,712,000 円、前年度比 70,196,000 円 (9.55%) 減とした。

それに対し、補正で医業費用を 48,750,000 円減の 612,867,000 円、医業外費用を 165,000 円増の 3,230,000 円、特別損失は増減無しの 30,000 円、合計 616,127,000 円とした。

また、資本的収支は、収入で出資金 0 円、前年度比 43,051,000 円減、他会計補助金 4,210,000 円、前年度比 1,460,000 円増、合計 4,210,000 円、前年度比 41,591,000 円 (90.80%) 減、支出で建設改良費（器械備品購入費）18,920,000 円と企業債償還金 40,594,000 円で合計 59,514,000 円、前年度比 2,987,000 円 (4.78%) 減、支出額に対する収入不足額 55,304,000 円は、過年度分損益勘定留保資金で補填するとした。

それに対する補正を、収入では他会計補助金 1,265,000 円増の 5,475,000 円、支出では建設改良費 1,184,000 円増の 20,104,000 円と企業債償還金 40,594,000 円を含め合計 60,698,000 円、前年度比 5,656,000 円 (8.52%) 減とした。

医業収益では、外来薬剤分が院外処方となったことから、前年度（現額）より

48,611,000 円減と見込んだ予算構成であったが、決算では 349,872,213 円であり、前年度より 49,421,861 円減となった。

これに基づき、令和 3 年度決算の審査結果を報告する。

収益的収入及び支出

単位:円

区 分			令 和 3 年 度			令和2年度 当初予算額	当初予算額の 比較増減
			当初予算額	補正予算額	予算現額		
収 入	病院 事業 収益	医業収益	394,296,000	△ 49,400,000	344,896,000	481,439,000	△ 87,143,000
		医業外収益	270,415,000	△ 18,185,000	252,230,000	253,468,000	16,947,000
		特別利益	1,000	0	1,000	1,000	0
		合 計	664,712,000	△ 67,585,000	597,127,000	734,908,000	△ 70,196,000
支 出	病院 事業 費用	医業費用	661,617,000	△ 48,750,000	612,867,000	731,439,000	△ 69,822,000
		医業外費用	3,065,000	165,000	3,230,000	3,439,000	△ 374,000
		特別損失	30,000	0	30,000	30,000	0
		合 計	664,712,000	△ 48,585,000	616,127,000	734,908,000	△ 70,196,000

(※金額は消費税込み)

年間患者数

単位:人

区 分	令 和 3 年 度				令 和 2 年 度				実績数の 比較増減
	当初予定数	補正数	補正後予定数	実績数	当初予定数	補正数	補正後予定数	実績数	
入 院	10,220	△ 559	9,661	9,697	11,680	△ 1,956	9,724	9,902	△ 205
外 来	18,876	△ 647	18,229	17,894	18,954	△ 792	18,162	17,562	332
合 計	29,096	△ 1,206	27,890	27,591	30,634	△ 2,748	27,886	27,464	127

資本的収入及び支出

単位:円

区 分		令 和 3 年 度				令 和 2 年 度				比較増減	
		当初予算額	補正予算額	補正後予算額	決算額	当初予算額	補正予算額	補正後予算額	決算額	当初予算額	決算額
収 入	出資金	0	0	0	0	43,051,000	△ 43,051,000	0	0	△ 43,051,000	0
	他会計補助金	4,210,000	1,265,000	5,475,000	5,386,000	2,750,000	1,875,000	4,625,000	4,625,000	1,460,000	761,000
	国庫補助金	0	0	0	0	0	2,246,000	2,246,000	1,789,000	0	△ 1,789,000
	合 計	4,210,000	1,265,000	5,475,000	5,386,000	45,801,000	△ 38,930,000	6,871,000	6,414,000	△ 41,591,000	△ 1,028,000
支 出	建設改良費	18,920,000	1,184,000	20,104,000	20,103,600	19,450,000	3,853,000	23,303,000	23,258,213	△ 530,000	△ 3,154,613
	企業債償還金	40,594,000	0	40,594,000	40,593,280	43,051,000	0	43,051,000	43,050,129	△ 2,457,000	△ 2,456,849
	合 計	59,514,000	1,184,000	60,698,000	60,696,880	62,501,000	3,853,000	66,354,000	66,308,342	△ 2,987,000	△ 5,611,462

(※金額は消費税込み)

(5) 執行状況について

令和 3 年度決算の執行状況は、下記のとおりである。

単位:円

区 分	予 算 額	決 算 額	割 合
病院事業収益	597,127,000	607,596,049	101.75%
病院事業費用	616,127,000	597,450,893	96.97%

(※金額は消費税込み)

(6) 事業及び収益について

事業量は、入院では療養病床利用率が 45.44%で前年度比 8.14%減、一般病床利用率は 58.26%で前年度比 3.55%増であり、患者数は 9,697 人、前年度より 205 人(2.07%)減である。病床利用率合計は 53.13%で、前年度比 1.13%減である。

外来は 17,894 人、前年度比 332 人(1.89%)増、総患者数も 27,591 人、前年度比 127 人(0.46%)増であり、入院・外来とも前年度並みの患者数となった。

今後も先を見据えた適切な対策と研究により町民に不便のない医療サービスを提供しなければならない。

事業及び収益

区 分		令和 3 年度			令和2年度 実績数	実績数の 比較増減	増減率
		補正後予算額・計画数	実績数	予算・実績比較増減			
入院	診療実績(人)	9,661	9,697	36	9,902	△ 205	△2.07%
	診療単価(円)	15,030	15,140	110	14,989	151	1.01%
	収益小計(円)	145,201,000	146,808,555	1,607,555	148,420,949	△ 1,612,394	△1.09%
外来	診療実績(人)	18,229	17,894	△ 335	17,562	332	1.89%
	診療単価(円)	8,636	8,953	317	13,037	△ 4,084	△31.33%
	収益小計(円)	157,427,000	160,213,414	2,786,414	228,947,401	△ 68,733,987	△30.02%
合計	診療実績(人)	27,890	27,591	△ 299	27,464	127	0.46%
	診療単価(円)	10,851	11,128	277	13,740	△ 2,612	△19.01%
	収益合計(円)	302,628,000	307,021,969	4,393,969	377,368,350	△ 70,346,381	△18.64%

(※金額は消費税抜き)

(7) 経営成績について

経営成績の推移(平成 30 年度から令和 3 年度)は、別表 1「比較損益計算書」及び別表 2「比較貸借対照表」が示すとおりである。

詳細については以下のとおりである。

ア 医業収益について

医業収益は 349,872,213 円で、前年度比 49,421,861 円(12.38%)減である。

内訳は、入院で 146,808,555 円、前年度比 1,612,394 円(1.09%)減、外来で 160,213,414 円、前年度比 68,733,987 円(30.02%)減であり、入院・外来合計で 307,021,969 円、前年度比 70,346,381 円(18.64%)減である。

また、診療単価は入院・外来の合計で前年度比 2,612 円減である。

外来収益の大幅減は、院外処方になったことによるもので、単純計算によると外来収益の前年度比 68,733,987 円減に対し薬品費(内服・外用薬のみ。注射は除く)が 72,002,654 円減であり、院外処方の効果は約 327 万円となった。

その他医業収益は 42,850,244 円、前年度比 20,924,520 円(95.43%)増である。

公衆衛生活動収益 30,547,663 円、前年度比 21,223,053 円増、医業相談収益

8,082,768 円、前年度比 150,608 円増、その他医業収益では、主治医意見書作成等の文書料 639,492 円、紙おむつ・洗濯料・貸布団・器具使用料等で 3,580,321 円、合計 4,219,813 円、前年度比 449,141 円（9.62%）減である。

医業収益

単位:円

区 分		令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	対前年度比	
				増減額	増減率
入院収益		146,808,555	148,420,949	△ 1,612,394	△1.09%
外来収益		160,213,414	228,947,401	△ 68,733,987	△30.02%
小 計		307,021,969	377,368,350	△ 70,346,381	△18.64%
その他 医業 収益	公衆衛生活動	30,547,663	9,324,610	21,223,053	227.60%
	医療相談	8,082,768	7,932,160	150,608	1.90%
	そ の 他	4,219,813	4,668,954	△ 449,141	△9.62%
	小 計	42,850,244	21,925,724	20,924,520	95.43%
合 計		349,872,213	399,294,074	△ 49,421,861	△12.38%

（※金額は消費税抜き）

イ 医業外収益について

医業外収益は 252,696,135 円、前年度比 36,067,309 円（12.49%）減である。

内、他会計補助金は 228,730,938 円で、前年度比 44,900,881 円（16.41%）減である。

内訳は、町の補助金が企業債償還利息 1,649,938 円と、病院事業運営費 32,422,000 円で合計 34,071,938 円、前年度比 68,744,881 円（66.86%）減、国からの地方交付税等交付金 191,123,000 円、前年度比 24,156,000 円（14.47%）増、臨時医師費用の一部を補助する直診繰出金 3,536,000 円、前年度比 312,000 円（8.11%）減である。

他会計からの補助金は国の交付金が前年度比 24,156,000 円増と、新型コロナウイルス感染症関係の支援金及び補助金が 11,580,470 円交付されたこともあり、町からの他会計補助金（事業運営費）が前年度比 68,293,000 円減となった。

他に受取利息配当金 317 円、前年度比 312 円減、長期前受金戻入金 4,956,921 円、前年度比 615,954 円（14.19%）増、患者外給食収益 98,940 円、前年度比 21,200 円（17.65%）減、その他医業外収益は 7,328,549 円、前年度比 630,340 円（7.92%）減である。

この内訳はしゃくなげ荘・自衛隊に対する医師の受託料 2,995,924 円と、医師・看護師の住宅使用料 670,295 円、休日夜間診療確保対策事業交付金 2,173,455 円、産業医受託料 75,819 円、衆議院議員選挙不在者投票特別経費 5,728 円、テレビ・自販機・公衆電話等の利用及び管理料 198,233 円、外科診療受託料（協会病院より）

1,209,095 円の収入である。

医業収益の「その他医業収益」の公衆衛生活動収益・医療相談収益・その他医業収益を合わせた 42,850,244 円と、患者外給食収益 98,940 円、医業外収益の「その他医業外収益」7,328,549 円を合わせた 50,277,733 円の収入は、全事業収益の 8.34%（前年度比 4.01%増）である。

医業外収益

単位:円

区 分			令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	対前年度比	
					増減額	増減率
受取利息配当金			317	629	△ 312	△49.60%
長期前受金戻入			4,956,921	4,340,967	615,954	14.19%
他 会 計 補 助 金	町 補 助 金	企業債利息	1,649,938	2,101,819	△ 451,881	△21.50%
		事業運営費	32,422,000	100,715,000	△ 68,293,000	△67.81%
		小 計	34,071,938	102,816,819	△ 68,744,881	△66.86%
	国 補 助 金	病院交付税	191,123,000	166,967,000	24,156,000	14.47%
		直診繰出金	3,536,000	3,848,000	△ 312,000	△8.11%
		小 計	194,659,000	170,815,000	23,844,000	13.96%
	合 計		228,730,938	273,631,819	△ 44,900,881	△16.41%
	患者外給食収益		98,940	120,140	△ 21,200	△17.65%
	その他医業外収益		7,328,549	7,958,889	△ 630,340	△7.92%
	補 助 金	新型コロナウイルス感染症 緊急包括支援交付金	0	2,711,000	△ 2,711,000	皆減
		コロナワクチン個別接種 促進事業支援金	8,730,470	0	8,730,470	皆増
		コロナ感染拡大防止 医療提供体制確保補助	2,750,000	0	2,750,000	皆増
		コロナウイルス感染拡大防止 継続支援補助金	100,000	0	100,000	皆増
		小 計	11,580,470	2,711,000	8,869,470	327.17%
	総 計		252,696,135	288,763,444	△ 36,067,309	△12.49%

(※金額は消費税抜き)

ウ 医業費用について

(ア) 給与費

給与費は 382,487,850 円で、前年度比 18,309,872 円（4.57%）減である。

医業収益に占める給与費の割合は 109.32%、前年度比 8.95%増で、事業収益でも 63.48%、前年度比 5.55%増となり、人件費割合は依然として高くなっている。

内訳は、給料・手当は減となった。

報酬は 55,010,586 円、前年度比 8,455,617 円増である。これは臨時医師 15 人、延べ 118 回で 16,711,000 円、前年度比 916,000 円（5.80%）増、パートタイム会計年度任用職員 38,299,586 円、前年度比 7,539,617 円（24.51%）増である。

前年度の循環器科分臨時医師賃金は、診療業務委託料として 720,000 円、報酬から 240,000 円支出したが、本年度は 960,000 円全額報酬から支出した。他に放

射線技師不在時 22 日間分 326,000 円の支出がある。

本町病院は少人数の常勤医師体制であり、臨時医師派遣は必要な措置と考える。
町民ニーズに合わせた医療を定期的に提供する事は妥当と判断する。

他に法定福利費 73,634,256 円、前年度比 3,987,779 円 (5.14%) 減、賞与引当金繰入額 20,638,877 円、前年度比 1,880,267 円 (8.35%) 減、法定福利費引当金繰入額 3,215,136 円、前年度比 614,181 円 (16.04%) 減である。

医業収益及び事業収益に対する人件費の充当率が高くなっている。特に医業収益充当率が 100%を超えている。

病院は人件費が主経費であり削減は難しい状況ではあるが、経営面等厳しい中、収益増に努めることを期待する。

給与費

単位:円

区 分		令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	対前年度比	
				増減	増減率
医 業 収 益 (対比)	医業収益の合計	349,872,213	399,294,074	△ 49,421,861	△12.38%
	給 与 費	382,487,850	400,797,722	△ 18,309,872	△4.57%
	給与費の充当率	109.32%	100.38%	8.95%	8.91%
事 業 収 益 (対比)	事業収益の合計	602,568,348	691,957,518	△ 89,389,170	△12.92%
	給 与 費	382,487,850	400,797,722	△ 18,309,872	△4.57%
	給与費の充当率	63.48%	57.92%	5.55%	9.59%

(※金額は消費税抜き)

(イ) 材料費

材料費は 61,417,736 円で、前年度比 74,791,132 円 (54.91%) 減である。

内訳は薬品費 35,705,075 円、前年度比 72,098,985 円 (66.88%) 減、診療材料費 25,712,661 円、前年度比 2,692,147 円 (9.48%) 減である。

薬品費は院外処方となったため大きく減となり、その効果が表れている。

薬品については、効率的な運用により廃棄処分の無いよう経費節減に一層の努力を求める。

(ウ) 経費

経費は 95,890,255 円で、前年度比 4,649,167 円 (4.62%) 減である。

内訳は委託料 64,653,736 円、前年度比 4,078,287 円 (5.93%) 減で、これは薬剤師の派遣と経営診断委託料の減、循環器科の診療費を報酬から支出したことが主な要因である。

また、各病院へ支出している専門外来診療委託料は下記のとおりで、日・当直診療委託料 3,040,000 円を含めた合計は 5,320,000 円、前年度比 870,000 円減である。

専門外来診療業務委託料(循環器科は報酬より支出)

診療科目等	診療回数	年間患者数	委託料
泌尿器科 (帯広協会病院)	12回(月1回)	190人	840,000円
脳神経科 (北斗病院)	12回(月1回)	140人	600,000円
眼科 (ひかり眼科)	24回(月2回)	394人	840,000円
合 計			2,280,000円

(※金額は消費税込み)

各病院との契約で実施している当事業は必要とみるが、今後診療科目等を検討し、住民の要望に応える努力を切に望む。

他に光熱水費、前年度比 2,077,090 円減、燃料費、前年度比 1,389,743 円増、賃借料、前年度比 1,223,214 円増である。

経費は年度により変動はあるが、費用の中で大きな割合を占めていることから、これからも経費削減は不可欠であり、より一層の努力を期待する。

(エ) 減価償却費

減価償却費は 40,100,107 円で、前年度比 452,617 円 (1.14%) 増である。

土地・構築物に償却は無い。建物は 29,708,393 円、前年度比 638,784 円減、器械備品 9,809,129 円、前年度比 1,091,401 円増、車両は前年度同額の 514,530 円、他にソフトウェアが前年同額の 68,055 円である。

償却は定額法にて適正に処理されている。

(オ) 資産減耗費

棚卸資産減耗費は薬品の破損、使用期限切れによる廃棄処分で 701,210 円、前年度比 187,519 円増となっている。これは内服薬で、患者の異動等により 328,110 円の高額廃棄があった。やむを得ない場合もあるが、期限切れ、破損に関しては取り扱いを慎重にし、資産が無駄に消失しないよう留意されたい。

固定資産除却費は器械備品分で 694,963 円、資産減耗費全体で 1,396,173 円、前年度比 16,218 円の処分減であった。

(カ) 研究研修費

研究研修費は 188,029 円、前年度比 50,305 円 (21.11%) 減である。

参考図書購入額と職員の研修旅費が主体となっている。

職員研修は、近代医療の知識取得、技術向上に必要不可欠なことであり、計画的・効率的に行い、さらなる研さんを望むものである。

医業費用

単位:円

区 分		令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	対前年度比	
				増減額	増減率
給 与 費	給 料	142,408,186	154,161,337	△ 11,753,151	△7.62%
	手 当	87,580,809	96,110,920	△ 8,530,111	△8.88%
	報酬(賃金)	55,010,586	46,554,969	8,455,617	18.16%
	法定福利費	73,634,256	77,622,035	△ 3,987,779	△5.14%
	賞与引当金繰入額	20,638,877	22,519,144	△ 1,880,267	△8.35%
	法定福利費引当金繰入額	3,215,136	3,829,317	△ 614,181	△16.04%
小 計		382,487,850	400,797,722	△ 18,309,872	△4.57%
材 料 費	薬品費	35,705,075	107,804,060	△ 72,098,985	△66.88%
	診療材料費	25,712,661	28,404,808	△ 2,692,147	△9.48%
	医療消耗備品費	0	0	0	0.00%
小 計		61,417,736	136,208,868	△ 74,791,132	△54.91%
経 費		95,890,255	100,539,422	△ 4,649,167	△4.62%
減 価 償 却 費	土地減価償却費	0	0	0	0.00%
	建物減価償却費	29,708,393	30,347,177	△ 638,784	△2.10%
	構築物減価償却費	0	0	0	0.00%
	器械備品減価償却費	9,809,129	8,717,728	1,091,401	12.52%
	車両減価償却費	514,530	514,530	0	0.00%
	ソフトウェア減価償却費	68,055	68,055	0	0.00%
小 計		40,100,107	39,647,490	452,617	1.14%
資 産 減 耗 費	棚卸資産減耗費	701,210	513,691	187,519	36.50%
	固定資産除却費	694,963	898,700	△ 203,737	△22.67%
小 計		1,396,173	1,412,391	△ 16,218	△1.15%
研究研修費		188,029	238,334	△ 50,305	△21.11%
合 計		581,480,150	678,844,227	△ 97,364,077	△14.34%

(※金額は消費税抜き)

エ 医業外費用

医業外費用は 16,167,207 円で、前年度比 8,944,097 円 (35.62%) 減である。

内訳は、企業債利息 1,649,938 円、前年度比 451,881 円 (21.50%) 減、その他雑損失 14,517,269 円、前年度比 8,492,216 円 (36.91%) 減である。

これは仮払消費税の残高 17,031,170 円から仮受消費税と仮払消費税を相殺した金額 2,513,901 円を差し引いた仮払消費税 14,517,269 円を雑損失として組み入れたものである。

医業外費用

単位:円

区 分	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	対前年度比	
			増減額	増減率
企業債支払利息	1,649,938	2,101,819	△ 451,881	△21.50%
一時借入金利息	0	0	0	0.00%
その他雑損失	14,517,269	23,009,485	△ 8,492,216	△36.91%
合 計	16,167,207	25,111,304	△ 8,944,097	△35.62%

(※金額は消費税抜き)

オ 特別損失

令和3年度の特別損失は無い。

(8) 資本的収支について

別表3「比較資本的収支計算書」参照

資本的収入は、5,386,000円、前年度比1,028,000円(16.03%)減である。

内訳は、出資金0円、他会計補助金5,386,000円、前年度比761,000円(16.45%)増である。

資本的支出は58,869,280円、前年度比5,324,679円(8.29%)減である。

内訳は、建設改良費で有形固定資産購入費(器械備品)18,276,000円、前年度比2,867,830円(13.56%)減、企業債償還金40,593,280円、前年度比2,456,849円(5.71%)減である。

(9) 資産について

別表2「比較貸借対照表」参照

ア 固定資産(有形・無形)

固定資産は601,848,927円で、前年度比22,519,070円(3.61%)減である。

内訳は、土地、構築物に異動はなく、建物529,629,550円、前年度比29,708,393円(5.31%)減、器械備品69,548,345円、前年度比7,771,908円(12.58%)増、車両は859,709円、前年度比514,530円(37.44%)減、無形固定資産のソフトウェア3円、前年度68,055円(100.00%)減である。

また、増加資産は器械備品7件分合計で18,276,000円が計上された。

除却資産は、器械備品6件分合計で13,899,260円を除却した。

決算書12頁「固定資産明細書」参照

固定資産

単位:円

区 分		令和3年度		令和2年度 決算額	決算額の 比較増減	増減率
		決算額	減価償却額			
有形	土 地	1,560,000	0	1,560,000	0	0.00%
	建 物	529,629,550	29,708,393	559,337,943	△ 29,708,393	△5.31%
	構 築 物	251,320	0	251,320	0	0.00%
	器械備品	69,548,345	9,809,129	61,776,437	7,771,908	12.58%
	車 両	859,709	514,530	1,374,239	△ 514,530	△37.44%
	小 計	601,848,924	40,032,052	624,299,939	△ 22,451,015	△3.60%
無形	ソフトウェア	3	68,055	68,058	△ 68,055	△100.00%
	小 計	3	68,055	68,058	△ 68,055	△100.00%
合 計		601,848,927	40,100,107	624,367,997	△ 22,519,070	△3.61%

(※金額は消費税抜き)

イ 流動資産

現金預金は 339,369,119 円で、前年度比 4,224,558 円減である。

未収金は 52,200,414 円、前年度比 11,306,004 円減である。

内訳は、大半が保険診療報酬（国保ほか3件に係るもの）45,657,744 円であり、これは遅れてでも完納になる。

一方、入院・外来が主となる患者未収金では、一部の繰越滞納金 829,883 円を除き大半が翌月に納入されるが、前年度比 2,846,056 円増の 6,526,302 円で、その他未収金は前年同額の 16,368 円である。

未収金が不納欠損金とならないよう努めるとともに、現年度分が越年して過年度分にならないよう、収納には万全を期すことを切望する。

貯蔵品では、薬品が 2,926,280 円で前年度比 1,325,819 円減である。

これは院外処方となり薬品在庫が減ったことによるものであり、今後とも在庫は多くなることなく推移することが望ましい。

また、固定資産合計 601,848,927 円と流動資産合計 394,495,813 円の資産合計は 996,344,740 円、前年度比 39,375,451 円減である。

流動資産

単位:円

区 分		令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	対前年度比	
				増減額	増減率
現金・預金		339,369,119	343,593,677	△ 4,224,558	△1.23%
未 収 金	患者未収金	6,526,302	3,680,246	2,846,056	77.33%
	保険未収金	45,657,744	59,809,804	△ 14,152,060	△23.66%
	そ の 他	16,368	16,368	0	0.00%
小 計		52,200,414	63,506,418	△ 11,306,004	△17.80%
貯 蔵 品		2,926,280	4,252,099	△ 1,325,819	△31.18%
その他流動資産		0	0	0	0.00%
合 計		394,495,813	411,352,194	△ 16,856,381	△4.10%

(※金額は消費税抜き)

患者未収金

単位:円

区 分	令和3年度		令和2年度	令和元年度	平成30年度
		対前年度比			
入 院	1,817,620	160,830	1,656,790	2,342,790	2,300,231
外 来	238,350	△ 289,310	527,660	517,240	416,006
公衆衛生活動収益	3,493,279	3,059,220	434,059	571,972	577,790
医 療 相 談 収 益	219,358	△ 5,452	224,810	24,356	419,640
そ の 他 医 業 収 益	747,971	△ 77,604	825,575	709,510	636,774
その他医業外収益	9,724	△ 1,628	11,352	77,180	63,920
合 計	6,526,302	2,846,056	3,680,246	4,243,048	4,414,361

(※金額は消費税抜き)

その他未収金

単位:円

区 分	令和3年度		令和2年度	令和元年度	平成30年度
		対前年度比			
障害老人・障害者・母子・乳幼児事務手数料	16,368	0	16,368	16,368	16,368

(※金額は消費税抜き)

(10) 負債について

ア 固定負債について

企業債は、令和3年度当初の金額である 115,884,267 円から令和4年度償還予定額 39,669,437 円を差し引いた額 76,214,830 円となった。

イ 流動負債について

一時借入金は無く、未払金は 19,729,324 円、前年度比 6,468,888 円減である。

内訳は、医業未払金 4,437,481 円、その他未払金 13,528,043 円、未払消費税

1,763,800 円で、これらは3月末以降の支払いであり、既に大半が支払い済みである。

引当金の内訳は、賞与引当金で前年度繰越金 27,400,314 円から 18,230,187 円を支出し、残金 9,170,127 円と令和3年度の繰入金 20,638,877 円の合計 29,809,004 円が次年度繰越金となった。

法定福利費引当金は、前年度繰越金 4,628,657 円から北海道市町村職員共済組合へ 3,278,816 円、北海道市町村職員福祉協会へ 8,363 円支出、残金 1,341,478 円に令和3年度引当金繰入額として 3,215,136 円を繰り入れ、次期繰越額を 4,556,614 円となった。

流動負債企業債は、40,593,280 円を償還し、次期償還額が 39,669,437 円とした。

ウ 繰延収益について

寄附金は 5,635,680 円、補助金は 165,894,130 円となった。

その他長期前受金として前年同額の出資金 25,850,600 円、合計 197,380,410 円から、収益化累計額 137,940,051 円を引いた 59,440,359 円が繰延収益である。

負債の部

単位:円

区 分			令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	対前年度比	
					増減額	増減率
固定負債・企業債			76,214,830	115,884,267	△ 39,669,437	△34.23%
流動 負債	一時借入金		0	0	0	0.00%
	未 払 金	医業未払金	4,437,481	10,855,781	△ 6,418,300	△59.12%
		未払消費税	1,763,800	827,700	936,100	113.10%
		その他未払金	13,528,043	14,514,731	△ 986,688	△6.80%
		小 計	19,729,324	26,198,212	△ 6,468,888	△24.69%
	引 当 金	賞与引当金	29,809,004	27,400,314	2,408,690	8.79%
		法定福利費引当金	4,556,614	4,628,657	△ 72,043	△1.56%
		小 計	34,365,618	32,028,971	2,336,647	7.30%
	企 業 債		39,669,437	40,593,280	△ 923,843	△2.28%
	合 計		93,764,379	98,820,463	△ 5,056,084	△5.12%
繰 延 収 益	長期 前 受 金	寄 附 金	5,635,680	5,635,680	0	0.00%
		補 助 金	165,894,130	171,608,130	△ 5,714,000	△3.33%
		その他長期前受金	25,850,600	25,850,600	0	0.00%
		収益化累計額	△ 137,940,051	△ 144,083,130	6,143,079	4.26
		小 計	59,440,359	59,011,280	429,079	0.73%
	合 計		59,440,359	59,011,280	429,079	0.73%
負 債 合 計			229,419,568	273,716,010	△ 44,296,442	△16.18%

(※金額は消費税抜き)

エ 資本金について

固定資本金は、前年度の 6,860,564 円と同額である。

出資金も 736,080,993 円、前年度と同額である。よって、自己資本金は固定資本金と出資金を合わせた 742,941,557 円である。

オ 剰余金について

前年度末残高 19,062,624 円に、令和 3 年度の純利益 4,920,991 円を組み入れた合計額 23,983,615 円が（繰越）利益剰余金である。

(11) 備品管理について

備品は台帳に詳細に記載・把握されており、適切に管理されている。

また、昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、病院内部における備品確認は実施していない。

5 総括

令和 3 年度決算において、医業収益は前年度比 4,942 万円、医業費用でも前年度比 9,736 万円の減額となった。

また、令和 3 年 4 月より院外薬局へ移行したことにより薬品費減額等の効果が見られ、さらに新型コロナウイルス感染対策等に対する国からの支援金・補助金が交付されたこともあり、町補助金 3,407 万円、前年度比 6,874 万円の減額となった。

病床利用率は 53.13%で、国の公立病院改革プランによる病床下限利用率 70%を 16.87%下回っている。

今後も地域病院の実情を訴え、経営レベル向上に努めてほしい。

本町病院は、住民の「保健・医療・福祉ケアの機構」において中核たる役割を担っている機関であることを常に意識し、その負託に応えていかなければならない。